

17:05~17:30

#### IV. 感染症と国家安全保障～バイオテロ対策の現況～

慶應義塾大学医学部熱帯医学・寄生虫学教室

慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所

齋藤 智也

感染症といえば保健医療・公衆衛生の視点から主に対処されるものであるが、時に国家安全保障としての側面をもってこれを取り扱わなければいけない場合がある。古典的には、病原体が「生物兵器」として、大量破壊兵器として扱われる場合がその一つである。このとき、発生予防へのアプローチは、武器不拡散・軍縮といったコンテキストで議論される。一方、過去にはSARSの流行や天然痘テロに対する脅威、近年では新型インフルエンザに対する備えの視点から、国境を越えた感染症対策の必要性が認知されつつある。これに備えた医薬品やワクチンの確保とそれに向けた研究開発はまた、国家の安全保障の一つとして位置づけられるべき問題である。本講演では、安全保障としての感染症対策の側面から日本のバイオテロ対策の現況を概説すると共に、慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所において実施されている文部科学省委託事業安全・安心科学技術プロジェクトによるバイオセキュリティ向上に向けた取り組みを紹介したい。